

恵那市の 森づくりの 現状と展望

NPO法人夕立山森林塾
代表 佐藤大輔

2022.7.29

(岩村の友人家族、移住者、
持山で森のようちえんのよ
うな活動)



「林業」と「NPO」

- ・ きこり（佐藤林業）
- ・ NPO法人夕立山森林塾
- ・ えーな木育クラブ
- ・ 恵那の森林づくり推進委員会

HP : NPO法人夕立山森林塾

Facebook:NPO法人夕立山森林塾

目指す境地は、ダメだなあ
しょうがねえなあ まあいいか
by 立花屋（ニワケン） >>>

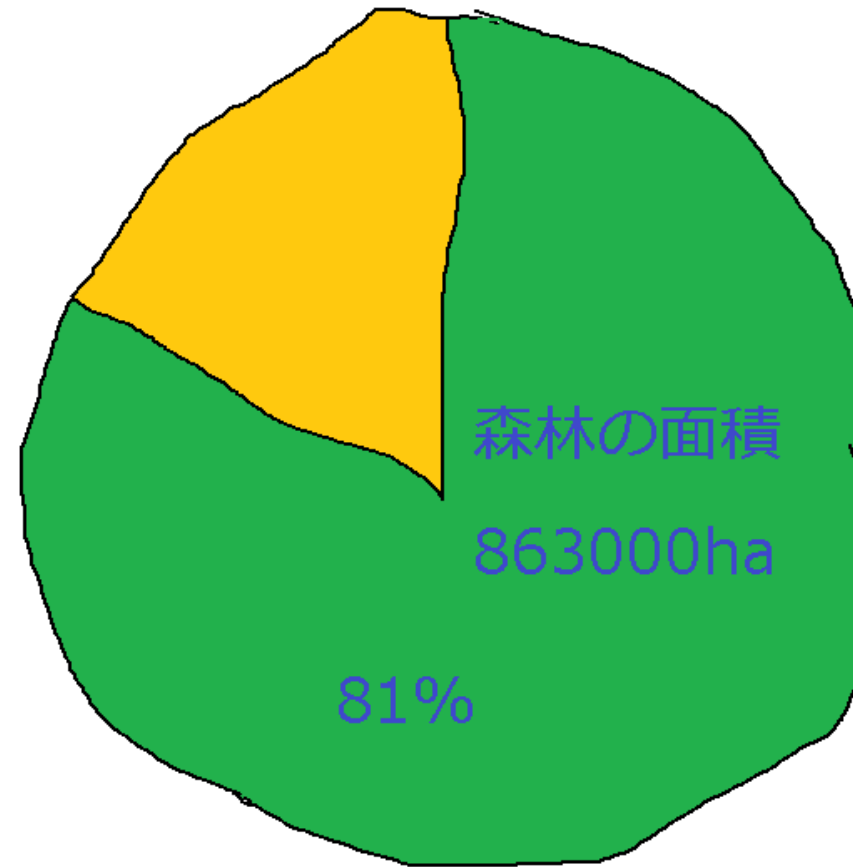


独立14年目、夕立山森林塾も同時に

- 大阪生まれで奈良で育ち、農的暮らしに憧れた
- 奈良の森林組合作業班で林業の現場作業に従事
- 恵那に移住後も中津川市森林組合で作業班に。
- 恵那で夕立山森林塾が発足、森の健康診断が始まる
- 誘われる（つかまる？）
- 独立開業
- 同時に夕立山森林塾の代表に。
- 恵那市の森林づくり、林業に関わりはじめる
- 恵那市森林づくり推進委員会
- 木の駅プロジェクトが始まり、全国にじわじわ波及
- 恵那市内外で、森づくりに関わる人たちと繋がっていく

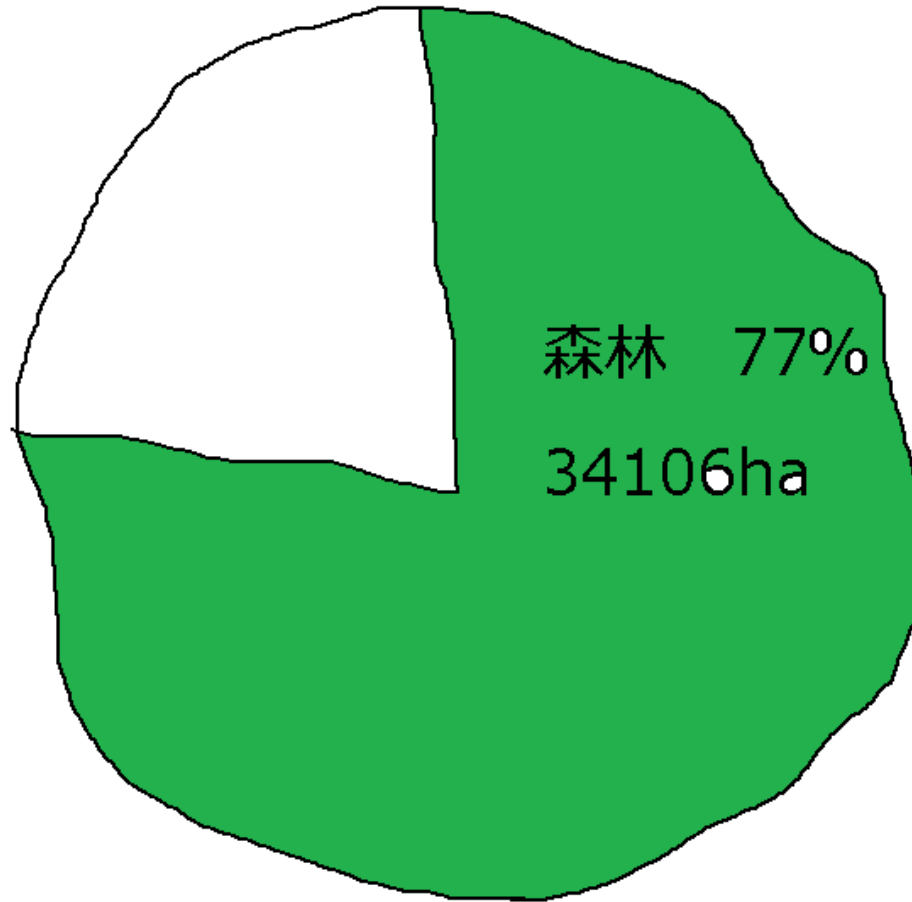


岐阜県の森林

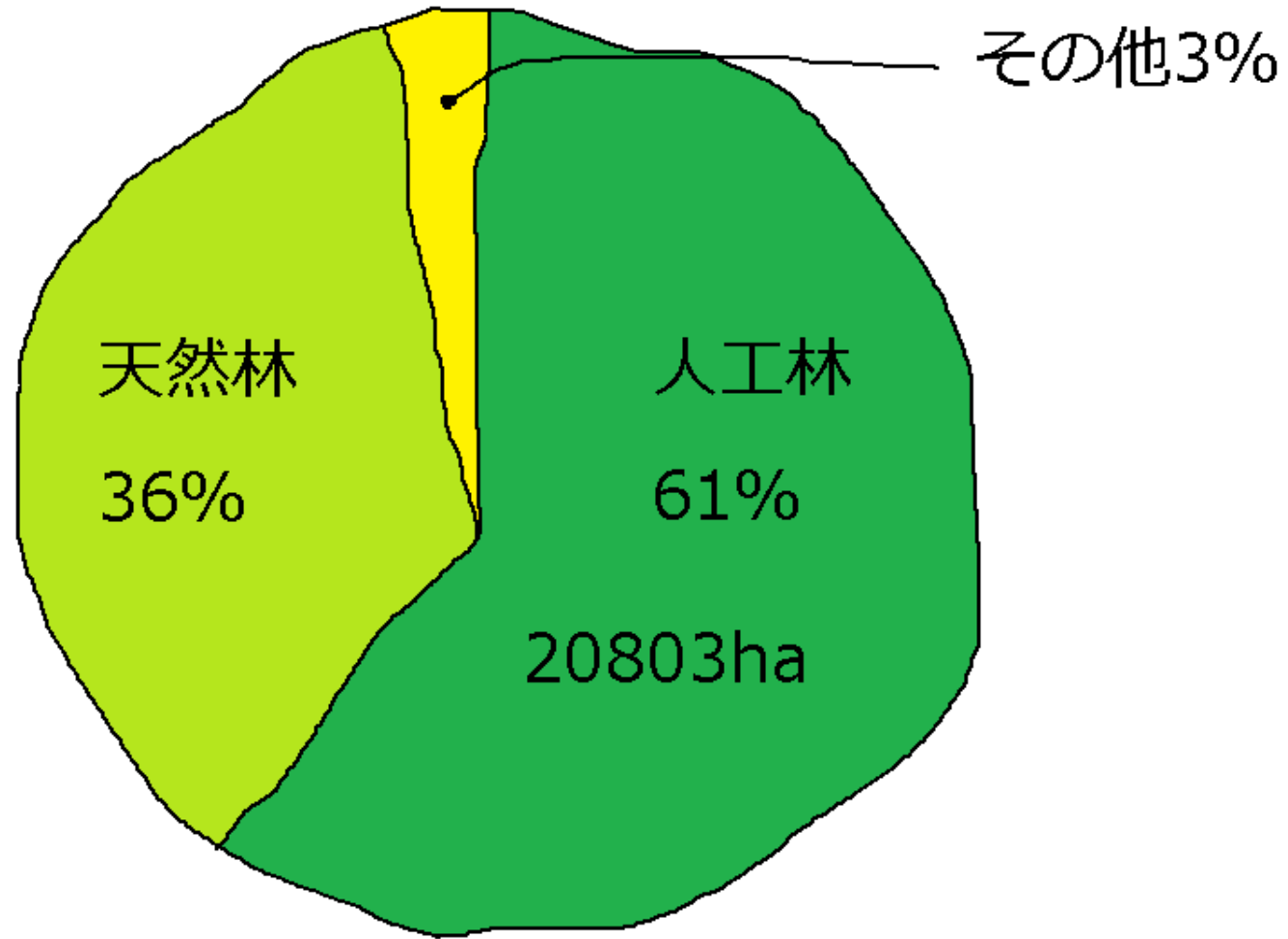


恵那の森林

全面積は50419ha



恵那の人工林の割合




恵那の森づくりへのかかわり

- 本業（林業） > 森林組合・間伐・支障木伐採（建物横・田畑・日陰対策）
- 間伐した材の供給・循環 伐った木はできるだけ搬出する
- 伐採した広葉樹はなるべく薪材に

- 夕立山森林塾 > 森林ボランティア養成・セミプロ養成・林業の紹介・啓発・地域団体・学校向けのチェーンソー講習など

- 移住者繋がりから副業や、地域の山林の管理などの相談も
- etc...





第1回 木の駅サミット in 恵那



えーな木育クラブ（恵那市森林環境教育推進協議会）がはじまりました





恵那市の森づくりに関わる団体・個人

林業が専業・山林所有者

- 林業事業体（森林組合・民間林業会社・個人など）
- 持ち山を自ら伐採
- 行政関係（恵那市・岐阜県・林野庁）
- 財産区・生産森林組合など
- 企業の山（リコーえなの森）
- 学校関係（長島小学校など）
- etc

林業が専業でない

- 木の駅プロジェクト関係
- 森林ボランティア
 - 都市住民、地元民、移住者
移住希望者
- 副業・バイト
- 自治会の役員・共有林の役員など？
- etc

木の駅の活動などとともに、山で作業する人が増えましたが

林業女子も



一方で怪我・事故の話も・・・

- ・市内各地の山林で伐採・搬出作業中に怪我をしたり、亡くなる事例が相次ぐ
- ・専業・副業・森林ボランティア問わず事故の話は後を絶たない
- ・専業は労災になることから、対策や対応が義務付けられている
- ・専業外の作業でも有意な対策が欲しい

森の健康診断をきっかけに

- 林業の仕事に就いている人も、都市住民も、山村の山主さんも研究者も、行政の人も、自治会の人たちも
 - 同じテーマに向き合い、一緒に山に入る
 - 参加の目的は様々
 - 個人的には、人工林の間伐が好循環してほしい
 - いろんな関わり方、応援のあり方もありそう
 - 恵那市の森づくり、プロもアマも、ボランティアも問わず仲間づくり、横の繋がりに、ネットワークが欲しい
 - 情報共有、人材交流、技術交流、安全意識の共有・・・。

えなの森林づくり交流会

えなの森林 活かして守って次世代へ
～市民の力で持続可能な地域循環型の森林づくり～

8月6日(土)13:00～16:00

恵那市文化センター集会室



【プログラム】

- 13:00 あいさつ
- 13:10 「えなの森林づくり実施計画」紹介
- 13:30 活動団体・事業所の実践紹介
- 14:40 活動・意見交流会
- 15:30 全体交流会
- 15:50 えなの森林づくりネットワーク設立
- 16:00 閉会

恵那の森林を守る人たちを支えるための「えなの森林づくり実施計画」が出来上がりました！

森林づくりや人づくりに関わる恵那市各地の仲間たちと、日々の取り組みや思いを共有し合い、豊かな「えなの森林」を未来につなぐネットワークをつくりましょう。

お申込み・お問い合わせ

下記事務局まで、裏面の申込書にてお申込みください。

恵那市役所農林課「えなの森林づくり推進委員会」事務局
〒509-7292 恵那市長島町正家1-1-1
TEL:0573-26-2111(内線367) FAX:0573-26-8933
Mail:nourin@city.ena.gifu.jp



えなの森林づくり推進委員会で

◆日時◆

平成28年8月6日（土曜日）午後1時から4時

◆場所◆

恵那市文化センター 集会室

◆プログラム◆

午後1時 あいさつ

午後1時10分 「えなの森林づくり実施計画」紹介

午後1時半 活動団体・事業所の実践紹介

午後2時40分 活動・意見交流会

午後3時半 全体交流会

午後3時50分 えなの森林づくりネットワーク設立

午後4時 閉会

（委員9名、行政スタッフ4名を含め、29団体56人が参加）

●60年前に、カナギの山を自分の手で切り開いて、ヒノキを植えてきた。本当ならカナギを半分、針葉樹はもう半分くらいじゃないといけない。けれど国の政策で、そうせよと言われて、8割近い山を針葉樹にしてきてしまった。それを下刈りをして、3回間伐をして、枝打ちをして、手入れをしてきたのが上矢作の山なんです。

たまたま支障木になって4本伐った際、4本引いたら4面無節の柱がとれるんですよ。それでも今の木の値段じゃ経費引いたらタダだった。60年かけてやってきた仕事がタダなんて、こんなことは、わしは本当に頭にきてしょうがないんです。

今の恵那の山を守るには、山の仕事をしておるものの暮らし、生活をなりたせな山は持続的に守れません。どうにか山の木を活かして循環させて、山で働いとるものの生活を成り立たせていくようにしていきたいです。

●これだけ多くの森づくりに関わる団体さんが集れるのって素晴らしいなあと思いました。

森づくりは災害を防ぐという防災面で、とても重要ですよね。けれどそれだけじゃなくて、この会場には、それこそ1歳から80代の方までいらっしゃるわけですよ。退職後の方々が森づくりを行っていることって、実は身体を動かして汗をかいて、森に癒されて体力もついて、健康づくりで医療の助けになっているかもしれない。森のようちえんとか、間違いなく子どもの教育にもなる。

そう考えると、防災、医療、教育の予算をもっと森づくりに当ててもいいのではないかと。そういう提案がもっとされていけば、もっと森づくりも、防災も医療も教育も、よい方向へ進むのではないかと感じました。

計画の理念

えなの森林^{もり} 活かして守って次世代へ
～市民の力で持続可能な地域循環型の森林^{もり}づくり～



未来への枠組み 森林づくりを実現するのに必要な地域の枠組みを構築する取り組み

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ①環境保全林と木材生産林のゾーニング | ③えなの森林づくりシンポジウムの開催 |
| ②森林保全のためのガイドライン策定 | ④えなの森林づくり実施計画の見直し |

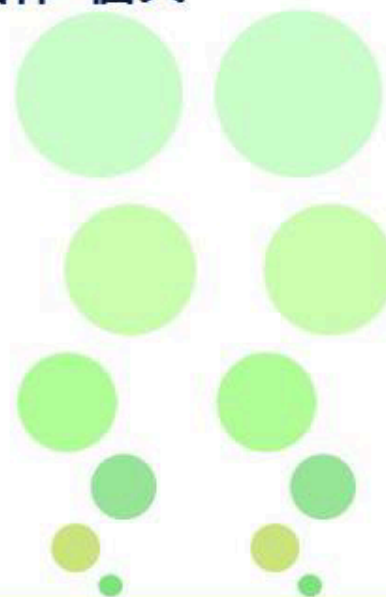
「えなの森林づくりネットワーク」について

【願い】 えなの森林づくりを支える仲間がゆるやかにつながり、
情報や学びを共有し助け合って、よりよい活動を展開できる。

【メンバー】 ●えなの森林づくりに直接関わる有志の団体・個人
●えな森林づくりを支えたいと願う有志の団体・個人

【活動内容】 ① 交流会や研修会の開催
② 情報交流と情報発信
③ その他、有志協働による企画

【事務局】 恵那市経済部農林課
および有志の世話人



計画の具体的内容

えなの森林を活用する

森林資源の活用を進めるための取り組み

- ★①バイオマス導入検討委員会の開催
- ②薪ストーブの普及
- ③小水力発電の調査研究
- ④公共施設への薪ボイラーの導入
- ★⑤木の駅プロジェクトの推進
- ⑥薪販売のしくみづくり
- ★⑦木製品の展示スペースの設置
- ★⑧公共施設の木造化
- ★⑨えなの木で家づくり支援
- ⑩市有林の協働活用

えなの森林を守る

森林の多面的機能を守るための取り組み

- ①治山事業の計画的な実施
- ②境界明確化の推進
- ③計画的な間伐の実施
- ④林道等の整備
- ★⑤作業道整備補助制度の設立
- ★⑥木材生産林及び環境保全林のモデル林設置
- ⑦市行造林の有効活用
- ⑧獣害の把握と対策

えなの森林を支える力

森林を支える人・地域を育てる取り組み

- ★①小中学校での森林教育
- ★②技術者育成の支援
- ③えなの森林づくりポータルサイトの作成
- ④山里に暮らす移住・定住の支援
- ⑤森林教育の活動拠点づくり
- ★⑥森づくり連絡会議の開催
- ⑦木育の推進
- ★⑧木エコテストの再編

恵那市の森づくりへの展望

- 恵那市は3つの河川の流域圏を抱えている。矢作川、木曾川、土岐川・庄内川。文字通りに源流の森を抱えた地域。
- 人工林率も高い、もとより森林率が高い。
- 森の健康診断・木の駅プロジェクト、地域や企業の森林づくりの取り組みなどで森林への市民参加が始まって久しい。
- 生活用水としてはもとより、農業用水、工業用水の安定供給や、近年の豪雨災害にも耐えられるような森づくりが望まれる
- ウッドショックなどにみられる国産材の安定供給や、地域エネルギー資源としての森林利用も含め、間伐を推進していきたい。
- 専門分野での日常的な業務からは気が付きにくい、市民や森林ボランティアなどの視点やアイデア、取り組みなどとも積極的に交流し、多様な視点の森づくり、森林利用に繋がる仕組みが求められる



ありがとうございました。